



2010年度神戸地区のテーマ
「共同体を育てよう」

オリーブの若木

赤波江 豊神父

私は震災の年の1995年にイタリアでの留学から帰り、その年の8月から兵庫教会の主任司祭となりました。その頃震災で倒壊した下山手教会でもまだミサが行われており、私はよく手伝いに行っていました。そのとき下山手教会には倒壊した瓦礫の下敷きになって折れた小さなオリーブの木がありました。しかしまだ生きており、これは震災で生きのびた木だから大切にしようと信者さんたちに話し、他の安全な庭に移植して見守っていました。しかしどうも木に生気がないのです。そればかりか次第に枯れていくのです。そしてある日見ると完全に枯れてしまっていたのです。生きのびてくれと願いながら大切に育ててきたのにと、私はがっかりしてしまいました。それからしばらく経ったある日のこと、何気なく庭を通りがかって枯れたオリーブの木の根元を見て私は思わず歓声をあげました。何と木の根元に小さな芽が出ているではありませんか。オリーブは生きていた!よく生きのびてくれた!どこにこんな生命力があったのでしょうか。それから下山手教会に行く度に感謝しながらこのオリーブの新芽を観察していたのですが、それがやがて10センチくらいに育ったある日のこと信じられないことが起こりました。完全に枯れたはずの元のオリーブの木にいくつも新芽が出ているではありませんか。完全に枯れて死んだはずだと思っていたのに、どこかに生命の脈があったのでしょうか。何か神戸の復興を予期させるような感動的な出来事でした。その後私は大阪の豊中教会に異動になりましたが、この木は復興のシンボルだから大切に育ててほしいと言い残して神戸を去りました。

それから1年後下山手の信者さんたちが豊中教会を訪問してくれた折に、そのオリーブの小さな木を株分けして持ってきてくれました。私は感謝して豊中教会の庭に植えました。その後私は箕面教会、タイ、住吉教会と異動がありましたが、あのオリーブの木はどうなっているだろうかと時々気になっておりました。先日豊中教会を訪問した折に見たら立派な木に成長していました。今年は震災から15年目。あのオリーブの木も15歳。先日神戸地区の役員の集まりでこの話しをしたところ、17日に神戸中央教会で行われる新生祈念ミサで記念樹にしようという話にもなりました。今年も社会では不況などでまだまだ困難なことが続き

そうです。しかし一度完全に枯れて死んだと思われた木から見事な生命力で復活したオリーブの若木が、これからの私たちの希望のシンボルとなることを願っています。「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで、その根からひとつの若枝が育ち、その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊、思慮と勇気の霊、主を知り畏れ敬う霊」(イザヤ書 11 章 1～2 節)

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。

神に感謝

赤波江 豊神父

議長新年ご挨拶

皆様新たな気持ちで新年をお迎えのことと思います。

住吉教会と信徒の皆様、さらに神戸地区、大阪大司教区、そして全世界の皆様の主のゆたかな祝福がありますよう祈っております。

今年から、神戸地区宣教司牧評議会の 2010 年のテーマが地区長の赤波江神父様の提案により「共同体を育てよう」と新たに決定されました。

私は昨年 4 月の小教区総会（信徒総会）で議長就任にあたって 住吉共同体としての「ふれあいに満ちた、明るい教会づくり」 住吉教会が将来も引き続き発展していくために「評議会の安定した基盤づくり」 信徒の皆様の「教会維持費、各種献金のご協力」を基本方針として皆様をお願いしました。

2010 年神戸地区「共同体を育てよう」のテーマにあい呼応して、今年も引続き同じ方針で進めて参りたいと思います。信徒の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。

今年はず、1 月 17 日（日）の「住吉教会の主日ミサでの震災祈念」と、それに続く住吉教会発「震災 15 年祈念ウォーク」、中央教会での「教区震災 15 年新生の日祈念ミサ」に積極的に参加しましょう。

そして 1 月 24 日（日）の教会新年会に集い、住吉教会の「明るい住吉共同体づくり」を一緒に楽しく、明るく進めていきましょう。

評議会議長 黒田 豊 夫

カトリック住吉教会 12 月度評議会議事録

日 時 : 2009 年 12 月 20 日 (日) 12:00 ~ 13:30

場 所 : 第 2 会議室

出席者 : 赤波江神父・黒田議長・他評議員 12 名

欠席者 : 5 名

はじめの祈り : 赤波江神父様

まもなくクリスマスですがあと十日もすれば一年間が終わります。

この一年いろいろな事がありました。信者さんの中にはうれしいこと、悲しいことそして又つらいことがあった方もいるかも知れませんが、すべてをよしとして受け入れ、来たるべき新しい年に向かって新しい希望をもっていくことが出来ますようにお祈りしましょう。

はじめに黒田議長より本日は大掃除の為評議会が時間変更し、12時より開始の説明がありました。

本日は下記の3テーマを議題として取り上げ検討されました。

今日はK氏に震災ウォークの企画委員を委嘱しているので、本日議題のため出席を依頼した。

また本日の欠席者からそれぞれ欠席届のメール連絡ありました。

議題

1. 月報1月分と2月分のスケジュールについて
2. 震災15年祈念ミサ・巡礼ウォーク 企画書
3. 年末援助の件

* * * * *

1. 月報1月分と2月分の予定変更について

12月5日(土)中央での合同役員会で下記決定しました。

月報1月分(別紙)

月報2月分予定

赤波江神父予定

2/4(木)~2/8(月)まで住吉不在(タイの司教叙階式に出席の為)

2/6(土) 合同役員会(住吉) 赤波江神父不在

2/7(日) ミサ 昌川神父 (クラレチアン レジデンス・枚方教会)

2/14(日) ミサ シリロ神父

2/21(日) ミサ 赤波江神父

2/24(水)~3/10(水)まで住吉不在(長崎神学生とボランティアの為)

2/28(日) 集会祭儀

月報3月分予定

3/7(日) ミサ 司祭未定

3/14(日) ミサ シリロ神父

3/21(日) ミサ 後藤神父(広島カテドラル主任司祭) 四旬節黙想会・赤波江神父

シリロ神父様の山上の説教の講座が終了し、1月より新しく第2・第4木曜日 14:00 からシリロ神父様のルカ福音書の講座が始まります。

1/3(日)集会祭儀司式者養成研修修了書授与と任命式(任命書の授与)(赤波江神父様より任命)
来年1月より年間行事の中で夜間ミサの時間が一部変更となる。従来の19:30 19:00になる。
星の園幼稚園年間行事予定として1月の聖堂使用願いが松谷園長先生よりありました。(承認)

1/8(金) 10:30 始園式

1/15(金) 震災追悼の集い

1/27(水)・1/29(金) コンサートリハーサル

2、年末援助の件

評議会で援助内容の基本方針を検討しました。援助先、援助金額については今年も従来方針を継続し、今後援助先、個別援助金額等全体的な見直しを行うこととしました。

皆様のご協力に感謝します。

社会活動チーム、財務チーム

3、震災15年祈念ミサ・巡礼ウォーク 企画書

震災15年祈念ウォークのルートについてK企画委員より説明があった。

阪神電鉄路線沿いの旧西国街道を経由するルートの提案があった。(承認) 教区へ連絡する。

震災祈念ミサ、祈念ウォークは東ブロック三教会(六甲、中央、住吉)の合同企画とする。

他教会、住吉教会の全信徒が参加できる企画とする。安全、途中交通機関の利用も可とする。

住吉教会出発の「祈念ウォーク」のルートと地図は別途添付予定。参照ください。

以上

* 「震災15年教区新生の日祈念ミサ」と「巡礼ウォーク」について

- ・ 2009年11月13日付 神田事務局長通達、2009年12月11日付池長大司教通達(次頁ご参照)
 - ・ 内容は「震災15年教区新生の日祈念ミサ」2010年1月17日(日)14:00 神戸中央教会
「震災祈念巡礼ウォーク」10:45 住吉教会出発予定(たかとり教会11:00 出発予定)
 - ・ 住吉教会は「巡礼ウォーク」の出発起点教会となりますので全教会を挙げての行事とします。
信徒の皆様は、可能な方はぜひご参加下さい。(無理のない、自発的な参加を募ります。)
 - ・ 六甲教会は巡礼ウォークは企画せず、住吉教会から一緒に参加されます。
 - ・ 巡礼ウォークの意向は「阪神淡路大震災をはじめ各地のさまざまな災害でなくなった方々、またそれによって苦しんでいる人々、のためにそれぞれの祈りをこめる。」
また、「いっしょに歩けない人たち、特に教区内各地の小教区からの祈りも携え、心をともにして歩き、祈念ミサで捧げる」というものです。
- * このため、住吉教会は、参加してもしなくても、それぞれ信徒一人ひとりが「震災15年新生の日の祈り」(震災祈念の祈りを)「祈りをカードに記入」して頂き、それらを纏めて、中央教会に持参し祈念ミサで捧げます。1月3日(日)から教会に「祈念カード」を用意しますので、1月17日(日)の住吉教会の主日ミサ(震災祈念)までに所定の箱に入れて下さい。
- * また、「小教区の祈り」をつくり、1月17日(日)の主日のミサで共同祈願で祈り、これを中央教会に持参し、祈念ミサで捧げます。 信徒の皆様のご協力をお願いします。

大阪教区の皆様

大阪大司教 池長 潤

震災15年 教区 新生の日についてのお知らせとお願い

+ 主の平和

年明け2010年1月17日(日)は、阪神淡路大震災からちょうど15年にあたります。この節目となる「教区新生の日」に、教区全体で祈り、またそのことを表す取り組みを皆様とともに行いたいと考えています。以下に、その計画についてお知らせいたしますので、皆様方の参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

1) 震災15年 教区祈念ミサ

2010年1月17日(日) 午後2時より 神戸中央教会にて

(ミサ後、炊き出しの催しを予定しています)

2) 祈りのウォーカソン

大震災で亡くなった方々やいまなお苦しんでおられる方々をはじめ、昨今、各地で多発している災害の犠牲者や被災者の方々のため、また社会全体がそのような苦しむ人々とともに歩むことができるようにという願いをこめて歩きます。参加できる人は、参加できない人たちの祈りも背負って歩きます。

出発地：たかとり教会 同日 午前11時 出発

住吉教会 同日 午前10時45分 出発

到着地：神戸中央教会 午後1時15分ごろ 到着予定

(到着後、お茶のサービスがあります)

- 3) 上記ウォーカソンの祈りの意向にそった祈りを各小教区ごとにつくり、それを携えてウォーカソンに参加するか、参加できない場合神戸中央教会宛に送る。
またその祈りを、各小教区で当日の主日ミサ共同祈願などでささげる。

(神戸中央教会

宛先：650-0004 神戸市中央区中山手通1-28-7

送付物には「震災15年祈り」と表記ください)

教区としての取り組みの計画は以上です。そのほか各小教区・ブロックなどで何か計画していただくのもおおいに歓迎いたします。

なおそのほか、当日午前5時30分からはたかとり教会と神戸中央教会で、「追悼の祈り」がささげられますのであわせてご案内いたします。

私たち教区全体の祈りがおん父のみ旨にかなったものとなり、また祈りをささげる私たちの上に、豊かな恵みと慰めが与えられますように。

以上

教会学校チーム

教会学校チーム長

教会学校は今

教会学校は、毎月第1, 3土曜日、午後2時～4時30分(第5土曜日は、子供のミサのみ、午後2時～3時30分) 小学校1年～6年の子供たちを対象に開いています。子供たちは、星の園幼稚園の卒園生がほとんどです。

4月の第3土曜日の始業式に始まり、7月末に一泊おとまり会。2009年夏は、甲山の西宮市立自然の家に行きました。そして、12月第3土曜日にクリスマス会、イエス様のご降誕の聖劇をします。3月第3土曜日に、6年生の子供たちの卒業式を行い、一年を終了します。他に、年に1度か2度、他の教会を訪ねたり、保久良山に登ったりの遠足があります。

子供たちは、キャンプだけ参加する子供も含め、12月現在40名ほどです。内容は、まずお聖堂で神父様のお話を伺って、その後、低学年、高学年に分かれて、聖書の勉強
子供たちの成果であるバベルの塔やノアの箱舟を、お聖堂の入り口に展示してあったのをご覧になった方もいらっしゃると思います。

2009年1学期は、聖パウロ三木についても学びました。園庭で遊んだ後、お母様方が用意してくださる手作りのおやつをいただいて帰ります。子供たちは皆、おやつをととても楽しみにしています。

リーダーはシスターを含め、9名。他に中高生のサブリーダーが、サポートしてくれています。リーダーは、今のところ全員女性なので、大学生、青年、若いお父様方、おじいちゃま方が、遊びやカリキュラムに加わっていただけると大変嬉しいです。

教会学校のクリスマス会

最新のニュースでは、2009年のクリスマスの聖劇が、12月19日にお御堂で行われました。子供たちが、それぞれの家族へ招待状を書きましたので、お父さま、お母さま、兄弟姉妹はもちろん、おじいちゃま、おばあちゃまもいらして下さいました。

練習のときは、「声が小さい」という声が何度もとび、身体をクネクネしたり、これでうまく行くかといつも心配するのですが、いざ衣装?(大きな布を巻いたり、スカーフでターバンにしたリ、)をつけると、俄然やる気を出して、本番にはとても強い子供たちです。

今年は、サブリーダーの中学生4人が照明を担当し、子供たちの出番を見守り、高校生は写真を撮ってくれて大成功のうちに終わることが出来ました。学年に一人か二人と信者の数は少ないのですが、創世記に始まり、幼子イエスのご降誕まで、せりふとして何回も言い、目で見、演じることによって、クリスマスの本当の意味が、全員の子供たちの中に理解できる形で残ればと願っています。

日頃、教会学校の活動にご協力をお願いしている皆様にも、ぜひ次回は見にいらせていただきたく、ポスターなどでお知らせしようと思いますので、どうぞお出かけくださいませ。

* ご意見箱

12月には1件のご意見(要望)がありました。

1、ご意見(要望)(記名あり)

夜のミサの時間を早めて欲しいという意見(要望)です。

「夜のミサの開始時間をもう少し早い時間にして欲しい。

体調や、夜の危険性等を考えて早めて欲しい。希望時間は18:00か18:30がいい。遅くとも19:00にはして欲しい。」という意見(要望)です

* お答え

この夜のミサの開始時間の問題は以前から意識していました。

12月20日(日)の評議会でのこの問題を検討しました。

結論として、2010年(実質的には四旬節の聖週間)から夜のミサの開始時間は19:00とすることに決定しました。もっと早くという意見もありましたが、本件はこれでご了承下さい。

* お知らせ

1、1月9日(日)「神戸バイブルハウス・ワンコインコンサート」

「浜中 浩ークラリネット・リサイタル」が開催されます。14:00開演。

浜中氏は元NHK交響楽団の首席クラリネット奏者です。池長大司教の友人です。素敵な演奏が楽しめます。

2、1月24日(日)「住吉教会新年会」

今年も又楽しい新年会が開催されます。17:00~。皆さんぜひ参加下さい。

元気な女性は食事準備、男性は会場設営と後始末にもご参加下さい。ご年配の方々は食事に参加頂き、みんなで楽しく、明るい住吉共同体の集まりにしましょう。

* 議長のつぶやき

- ・ 昨年は赤波江神父様、シリロ神父様、多くの神父様方に助けられ、住吉教会評議会もなんとか無事に運営できました。感謝とともに御礼申し上げます。
また評議会評議員の皆様、信徒の皆様には大変ご協力頂き感謝しております。
- ・ 特に留意したのは月報です。赤波江神父様には2010年も引続き巻頭言をお願いしています。皆さまへの素敵な霊的メッセージです。どうかご期待下さい。
- ・ 皆様に来るだけ多くの情報をお伝えしようと思いましたがまだまだの部分がおおくありました。皆様には、時間を見つけて月報にじっくり目を通して頂くようよろしくお願ひします。ご意見箱は皆様との直接の接点として、これからも大切にしていきたいと考えています。皆様のご意見をお待ちします。
- ・ 教会のホームページもよく見て下さい。委員会を設置して、内容も刷新し、面白い興味のあるものになっています。一般の方にも信徒の方にもご活用をお願いします。
- ・ 信徒奉仕職という言葉が使われます。教会の運営、すばらしい共同体作りには、司祭・修道者、信徒の親密な連携が必要です。2010年、住吉教会もみんなで協力し合いながら、楽しく、明るい住吉共同体づくりに力を合わせて前向きに進んでいきましょう。